

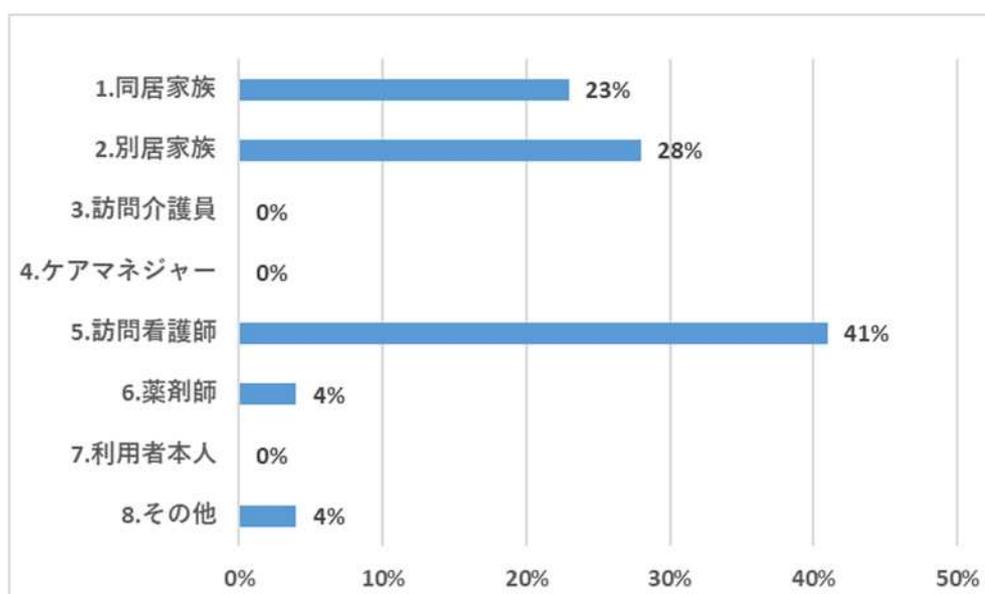
5-3 機器利用後の服薬支援の実態

①機器利用に関する服薬支援者、機器の利用頻度など

機器に薬をセットする人としては「訪問看護師」と回答した人が 41%と最多であり、「別居家族」が 28%「同居家族」が 23%であった。既存者も同様である。(図表10)また、機器の利用頻度は全ての人々が「ほぼ毎日(週4日以上)」と回答しており、薬を機器にセットする頻度も全ての人々が「週に1日(月に4回)」と回答した。(図表11)(図表12)

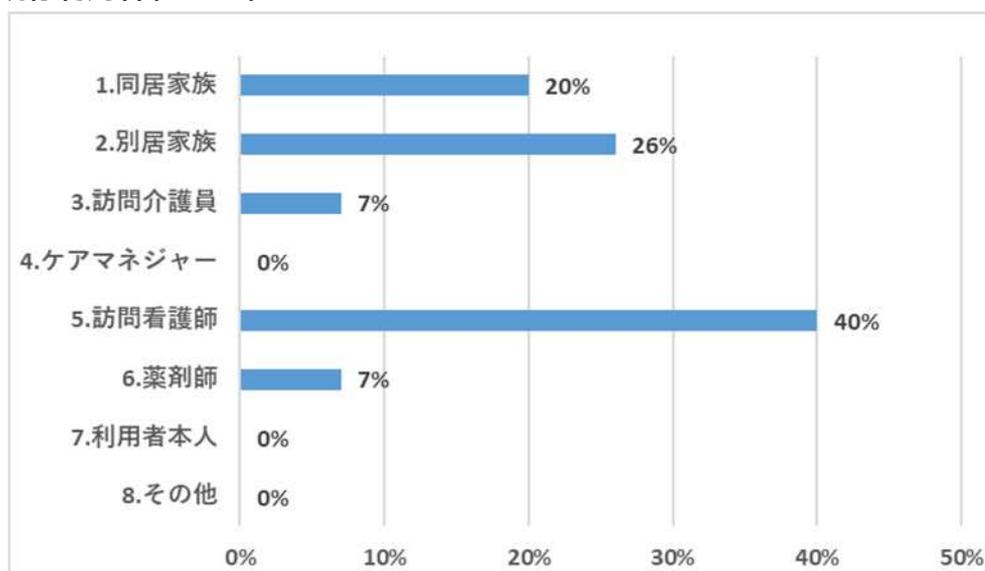
図表10 機器に薬をセットする人《調査票2-問2(1)》(新規n=21、既存n=14 計n=35)

新規利用者(n=21)

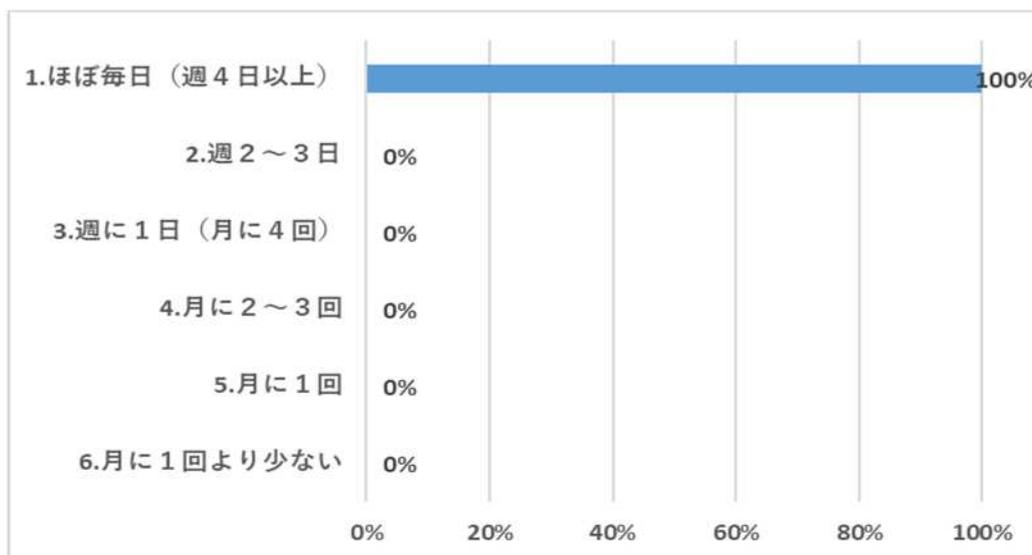


*その他自由記載: デイケア職員

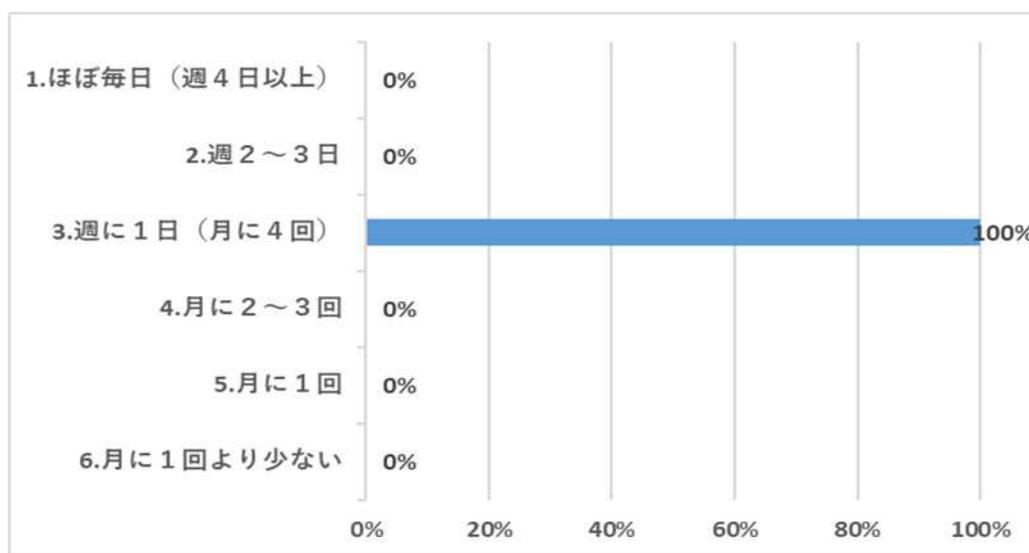
既存利用者(n=14)



図表11 機器の利用頻度《調査票2-問2(2)》(新規 n=21、既存 n=14 計 n=35)
新規利用者・既存利用者(n=35)



図表12 機器にセットする頻度《調査票2-問2(3)》(新規n=21、既存n=14、計 n=35)
新規利用者・既存利用(n=35)



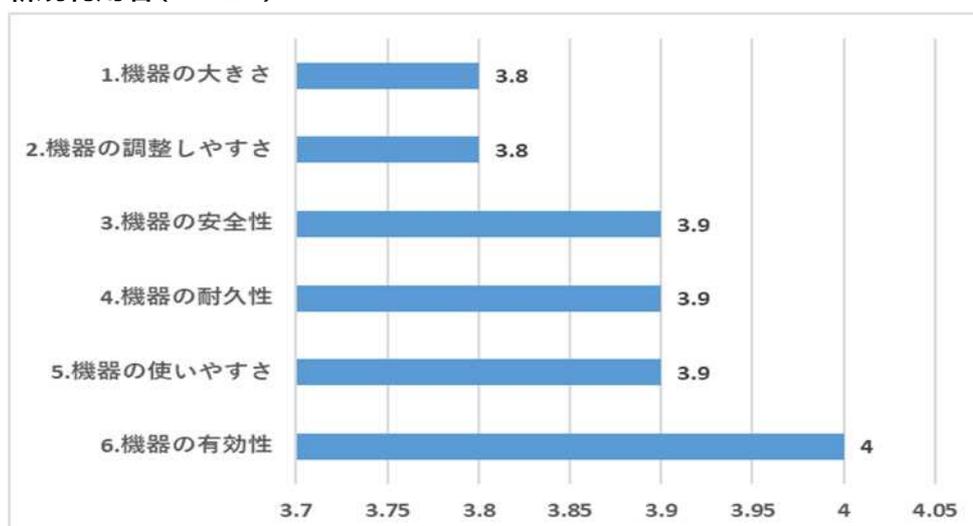
5-4 利用者満足度

①機器に対する利用者満足度

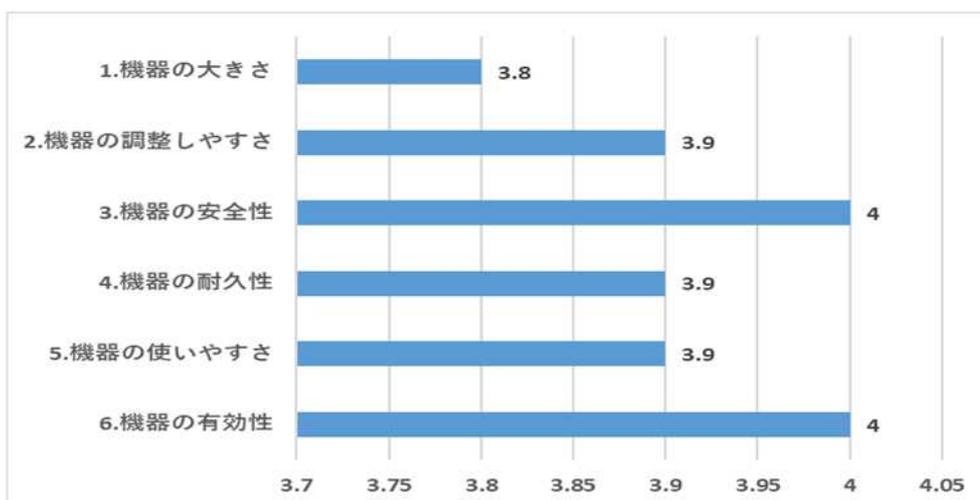
QUEST 福祉用具満足度評価を参考に、機器に関する満足度評価を調査した。最も満足度が高いのは「機器の有効性」であり、平均 4.0 点であった。またそのほかの項目についても平均 3.8 点以上であった。既存の利用者においても「機器の有効性」「安全性」が平均 4.0 点であり、その他も平均 3.8 点以上であった。(図表13)満足している理由としては「音で服薬を教えてくれる」「同じ薬を 2 回飲むことがなくなった」「薬が正しく飲めるようになった」という意見があった。満足していない理由としては、ケースのフタや時間設定等の操作性に関する理由が記載された。(図表 14)

図表13 機器に対する利用者満足度評価の得点平均《調査票4-問1(1)～(5)》

新規利用者(n=21)



既存利用者(n=14)



※QUEST福祉用具満足度評価を参考に評価

※各項目1～5点で評価し、点数が高いほど満足度は高い

図表14 満足している理由・満足していない理由【自由記載】《調査票4-問2》

《満足している理由》

新規利用者 n=21

- 音で服薬を教えてくれる
- 過剰摂取がなくなった
- 忘れずに飲める
- 同じ薬を2回飲むことがなくなった
- きちんと薬が飲めている

既存利用者 n=14

- 飲み忘れがなくなった
- 高い耐久性に満足
- 操作が簡単
- 薬が正しく飲めるようになった
- 薬が時間になると出てくる

《満足していない理由》

新規利用者 n=21

- 飲み忘れはある
- 側でうるさいと感じる
- 設定のパネル画面が小さくて見づらい
- コンセントを抜くと情報がリセットされるため困る。1週間分の配薬でも9つ箱を入れておかないと行けないため混乱してしまう。鍵保管用の袋があると助かる。ケースに曜日が見れるシールがあると助かる

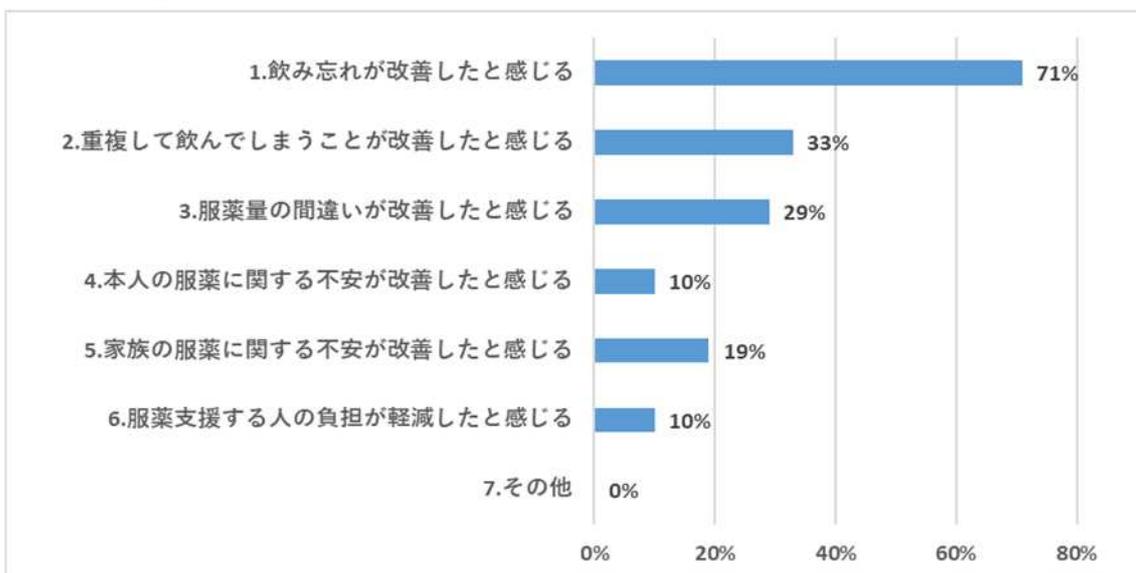
既存利用者 n=14

- ケースの蓋がやや開けづらい
- 時間設定がやりづらい

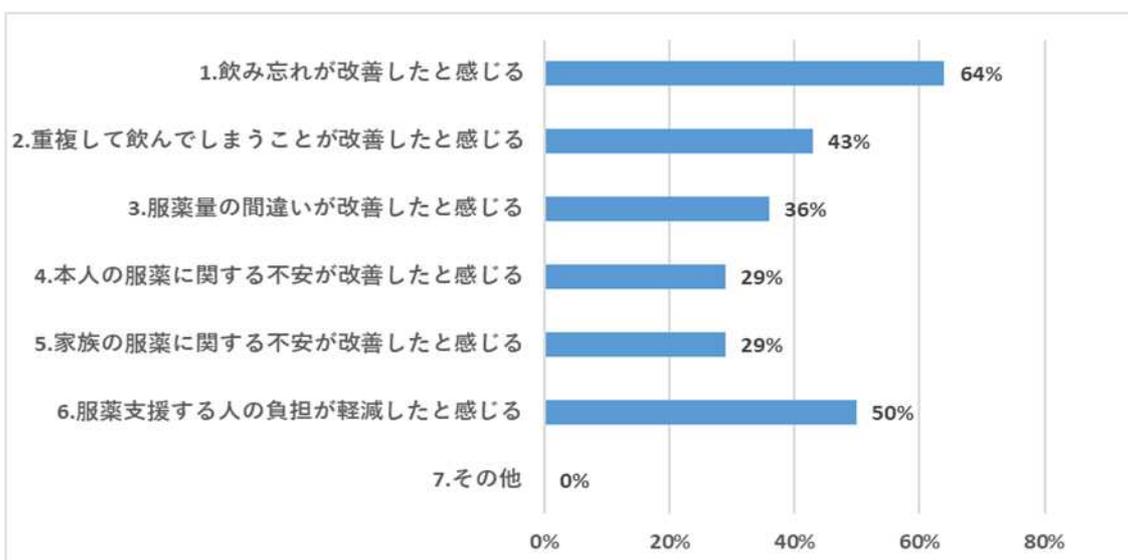
5-5 利用者感想

機器を利用して良かったこととしては「飲み忘れが改善したと感じる」が 71%と最多であり、次いで「薬を重複して飲んでしまうことが改善したと感じる」が 33%、「服薬量の間違いが改善したと感じる」が 29%、「家族の服薬に関する不安が改善したと感じる」が 19%あった。(図表 15)また、その理由としては「飲み忘れが改善した感じる」と答えた人のうち「飲むべき時に薬を飲むことに本人が気づけるようになった」と答えた人が 80%、「服薬を支援する人の負担が軽減した」が 50%、「飲むべき薬を適切に手に取ることができるようになった」と答えてくれた人が 47%であった。既存の利用者においても「飲み忘れが改善したと感じる」が最多で 64%、新規利用者と既存の利用者において違いは、「服薬を支援する人の負担が軽減した」が 50%と回答した。(図表 15 及び 16)

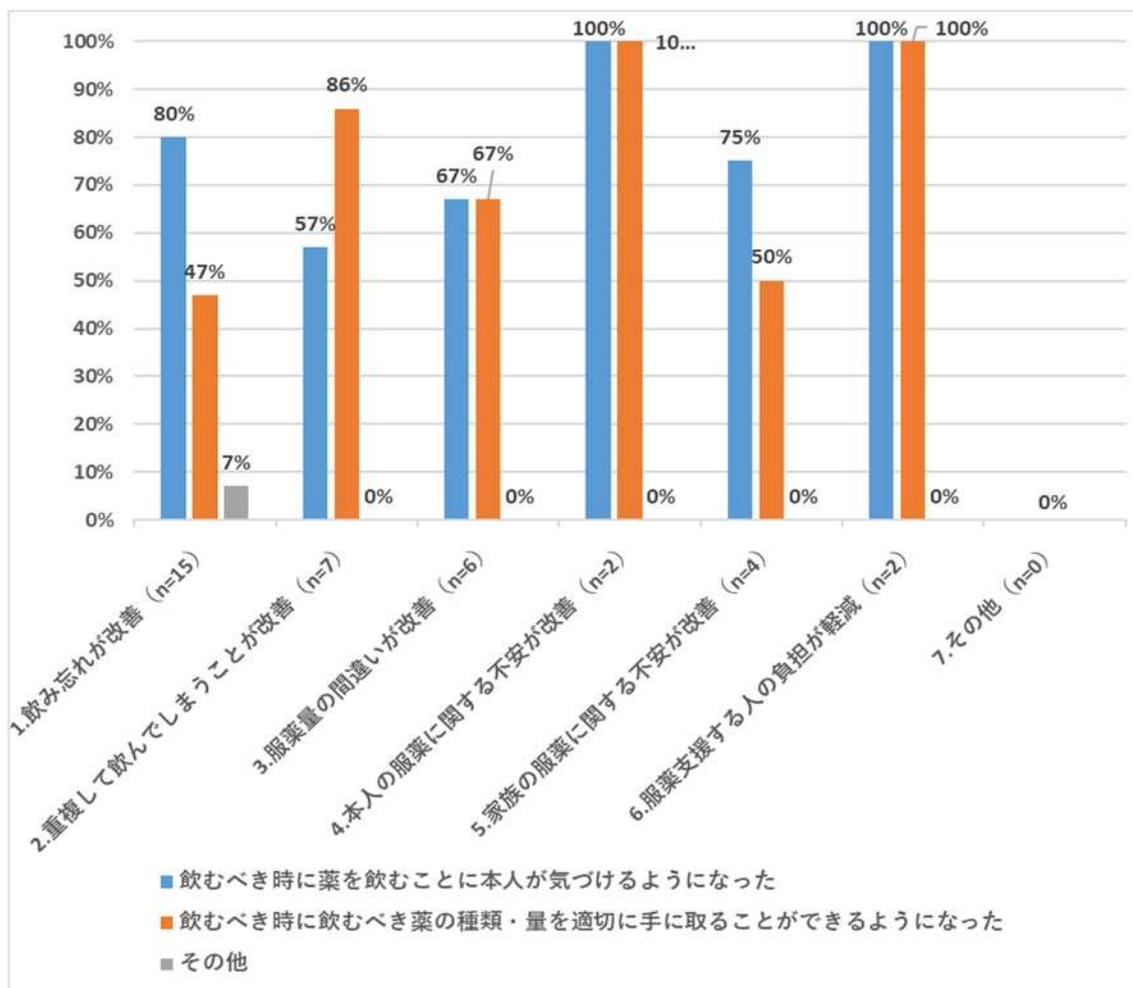
図表15 機器を利用して良かったこと【複数選択】《調査票4-問4(1)》
新規利用者(n=21)



既存利用者(n=14)



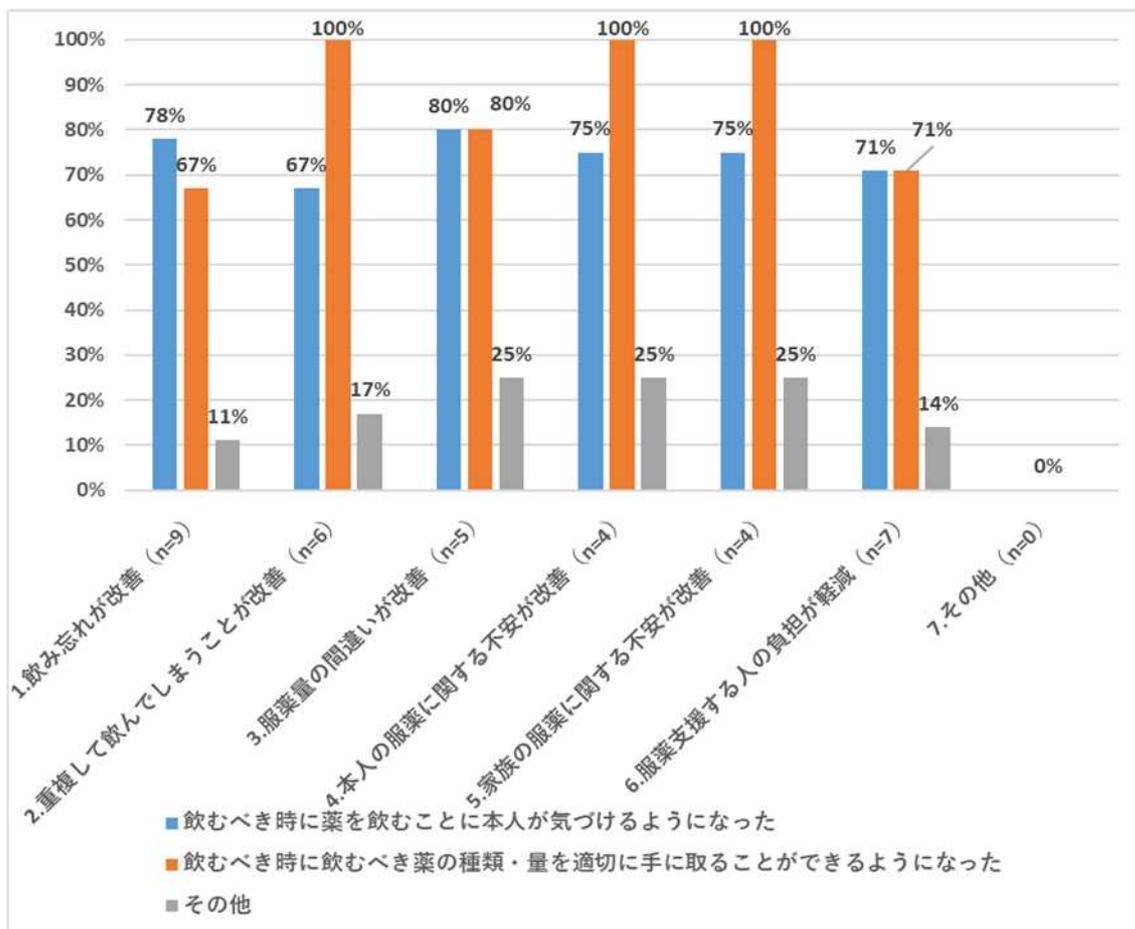
図表16 機器を利用して良かった理由【複数選択】《調査票4-問4(1)・(2)》
新規利用者(n=21)



その他の意見【自由記載】

・内服せずに BOX に残っていることが時々ある

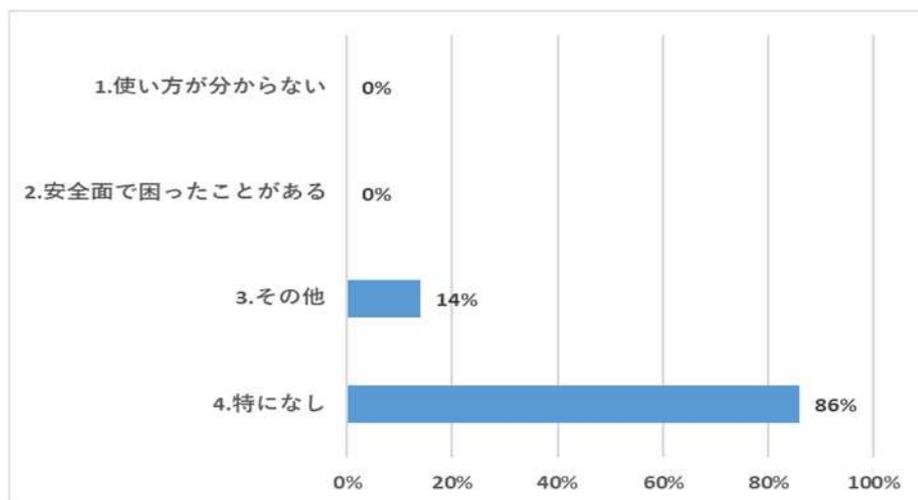
既存利用者(n=14)



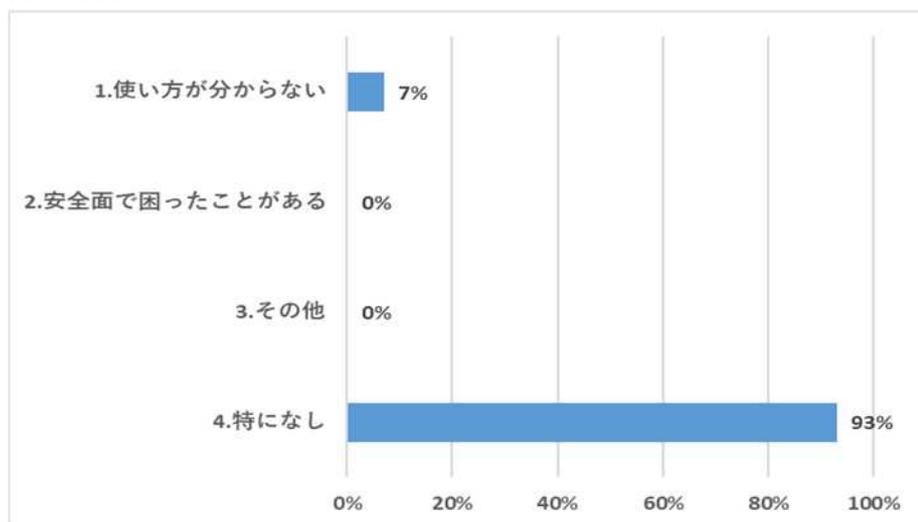
その他の意見【自由記載】

・本人にあっていると思う

図表17 機器を利用して困った理由【複数選択】《調査票4-問4(3)》
新規利用者(n=21)



既存者利用者(n=14)



その他の意見【自由記載】

新規利用者(n=21)

- ・出たものを飲み忘れること
- ・認知があるので飲んでいのに薬が出てこないと言われたことがある
- ・点滅や音声で教えても認識できないときがみられる

既存の利用者(n=14)

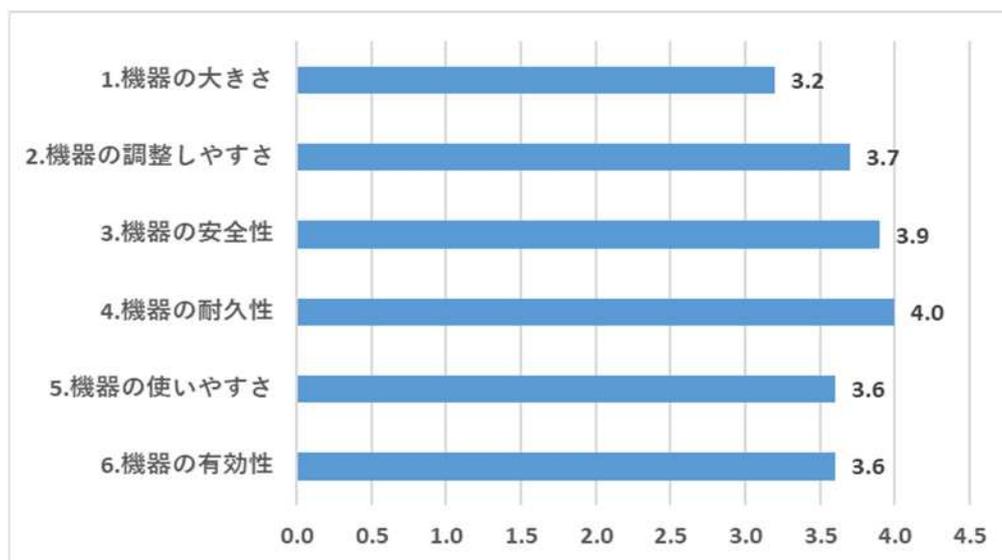
- ・認知症が進んでアナウンスに注意して聞くことがなくなった(以前はアナウンスが鳴れば反応されていたが、認知症が進みアナウンスの声を認識できなくなった)

5-6 介助者満足度

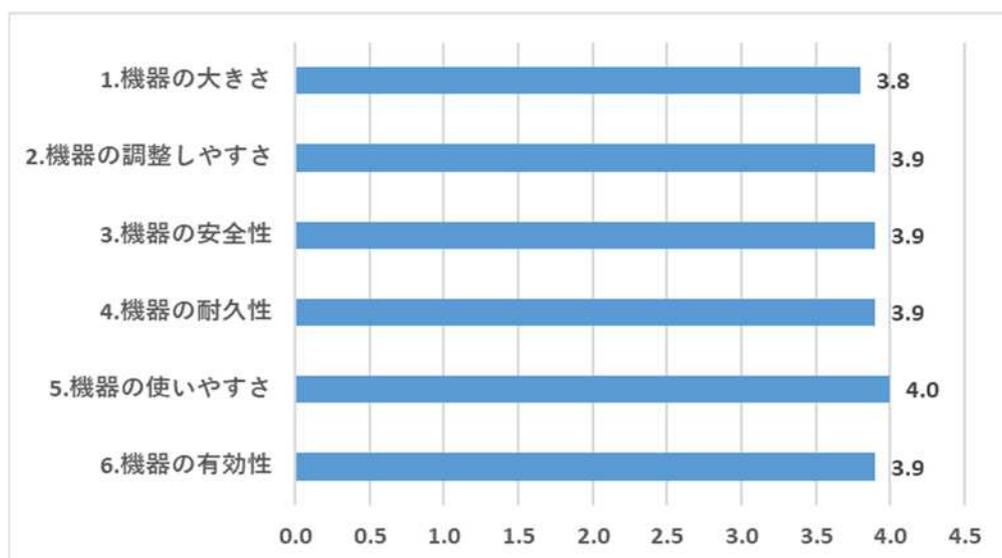
①機器に対する介助者満足度

最も満足度が高いのは「機器の耐久性」であり平均 4.0 点、次いで「機器の安全性」が平均 3.9点であった。既存の利用者は「機器の使いやすさ」が平均で 4.0 点、「機器の大きさ」以外は全て 3.9 点であった。(図表18)満足している理由としては「飲み忘れがなくなった」などがあり図表 19 に記載している。

図表18 機器に対する介護者満足度評価の得点平均《調査票5-問1(1)～(5)》
新規利用者(n=21)



既存利用者(n=14)



※QUEST福祉用具満足度評価を参考に評価

※各項目1～5点で評価し、点数が高いほど満足度は高い

図表19 満足している理由・満足していない理由【自由記述】《調査票5-問2》

満足している理由

新規利用者(n=21)

- 利用して困ることがない。
- 服薬記録が確認できるため評価しやすい。飲み忘れが少なくなりありがたい。アナウンス音は耳の遠い人でも最大音量で聞こえる。
- 飲み忘れがなくなった。
- 時間通りに出てくるので、時間が分かるようになり助かっている。
- 安心している。
- 以前は飲み忘れや重複して飲むことが多かったが改善された。

既存利用者(n=14)

- 耐久性の高さ
- 薬の出るときの音により気付く
- 目で確認できる場所に置いてあり飲み忘れも気づきやすい
- 同時間に出てくるので大変助かっている
- 薬が時間通りに出て何度も教えてくれる
- セットが簡単

満足していない理由

新規利用者(n=21)

- 服薬セットした後に本当にちゃんと作動してくれるか毎回不安。コンセントを抜くと情報がリセットされるため困る。1週間の配薬でも9つの箱に入れておかないといけないうので混乱(配薬側)する。鍵保管用の袋があると助かる。ケースに曜日を貼るシールがあると助かる。
- まだ飲み忘れは1週間の内1.2回はある。
- 本人はセットに慣れているが、精神面での音や声に不快感がある。
- 直接触れたりしていないので分からない。ケースの色が薄いので分かりづらい。はっきりした色の方が分かりやすい。上の蓋が透明だと印字したものが分かりやすい。
- 音が大きい

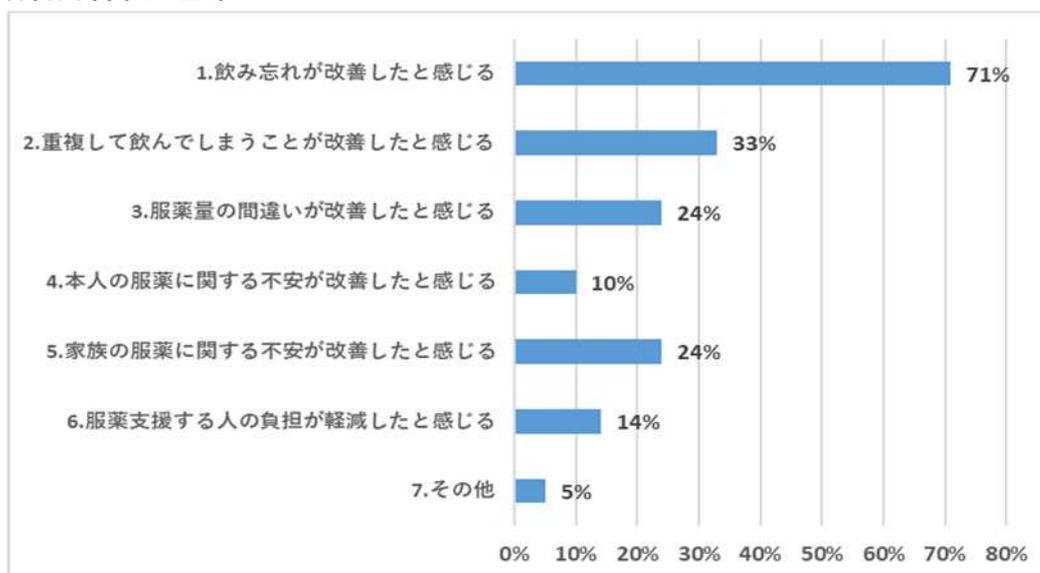
既存利用者(n=14)

- ケースの蓋の開けづらさ。
- 時間の変更時不安がある
- 不具合時の対応を業者に頼まなくてはならない
- 本人の認知症が進んで機器での対応が難しくなっている。

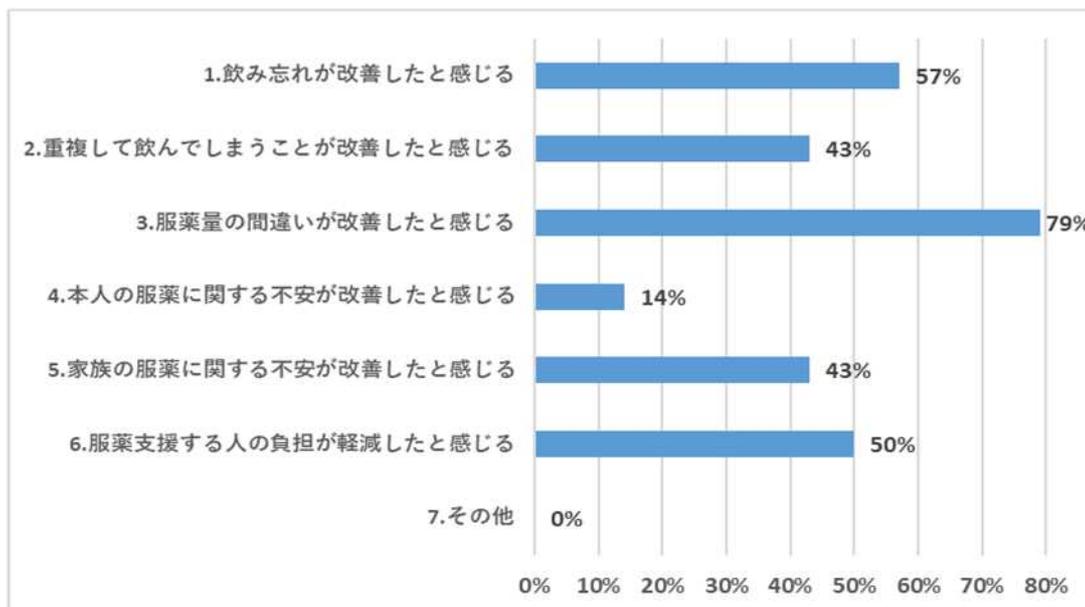
5-7 介助者感想

機器を利用して良かったこととしては「飲み忘れが改善したと感じる」が 71%と最多であり、次いで「薬を重複して飲んでしまうことが改善したと感じる」が 33%、「服薬の間違いが改善したと感じる」「家族の服薬に関する不安が改善した」が 24%であった。また既存の利用者においては「薬の間違いが改善した」が 79%で「飲み忘れが改善した」が 57%、「服薬支援する人の負担が軽減した」が 50%であった。(図表20)またその理由としては「飲み忘れが改善したと感じる」と答えた人うち「飲むべき時に薬を飲むことに本人が気づけるようになった」と答えた人が 81%、「飲むべき時に薬を適切に手に取ることができるようになった」と答えた人が 44%であった。既存者では「服薬の間違いが改善したと感じる」と答えた人で、「飲むことに本人が気づけるようになった」が 86%、「飲むべき時に飲むべき薬の種類・量を適切に手に取ることができるようになった」が 57%であった。(図表21)機器を使用して困ったこととして、新規利用者・既存利用ともに「特になし」と答えた人が最も多かった。(図表22)

図表 20 機器を利用して良かったこと【複数選択】《調査票5-問4(1)》
新規利用者(n=21)

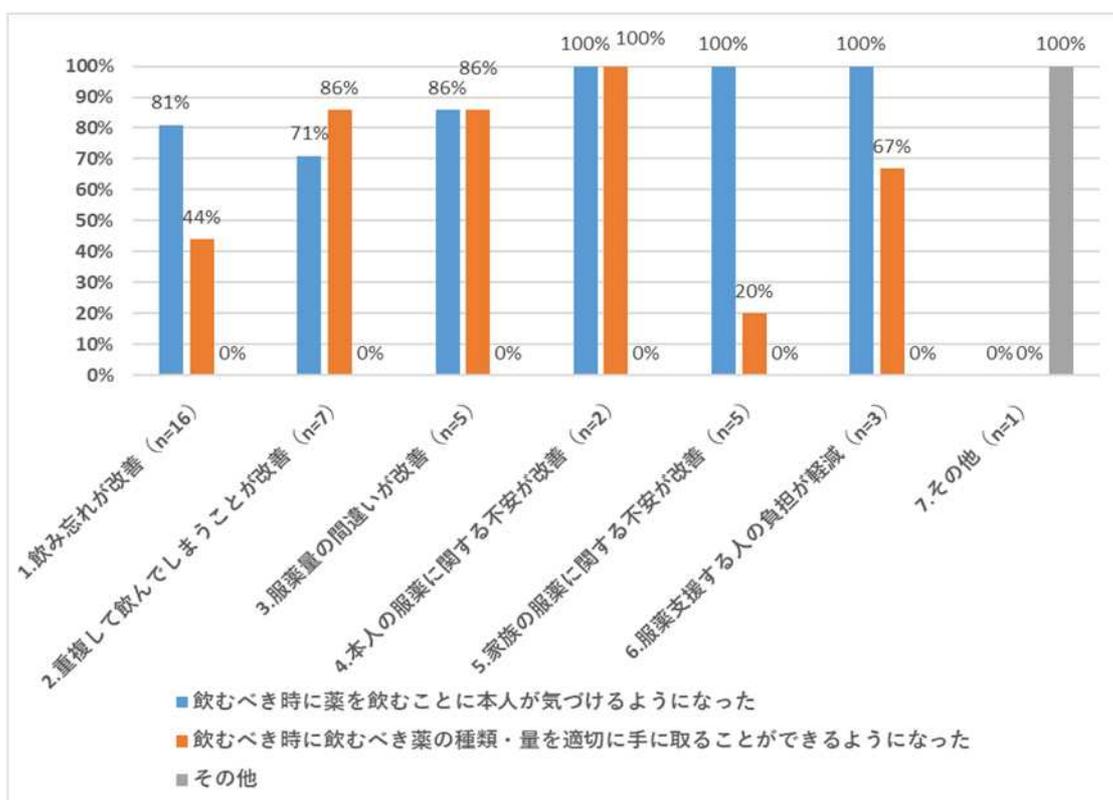


既存利用者(n=14)



図表 21 機器を利用して良かった理由【複数選択】《調査票5-問4(1)・(2)》

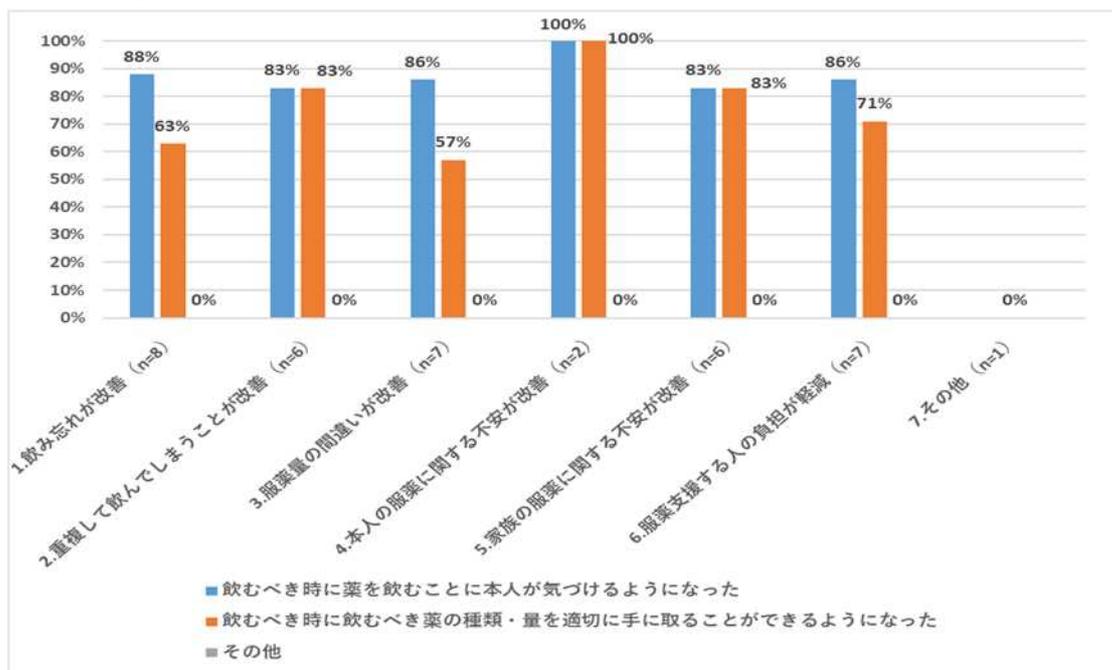
新規利用者(n=21)



その他の意見【自由記載】

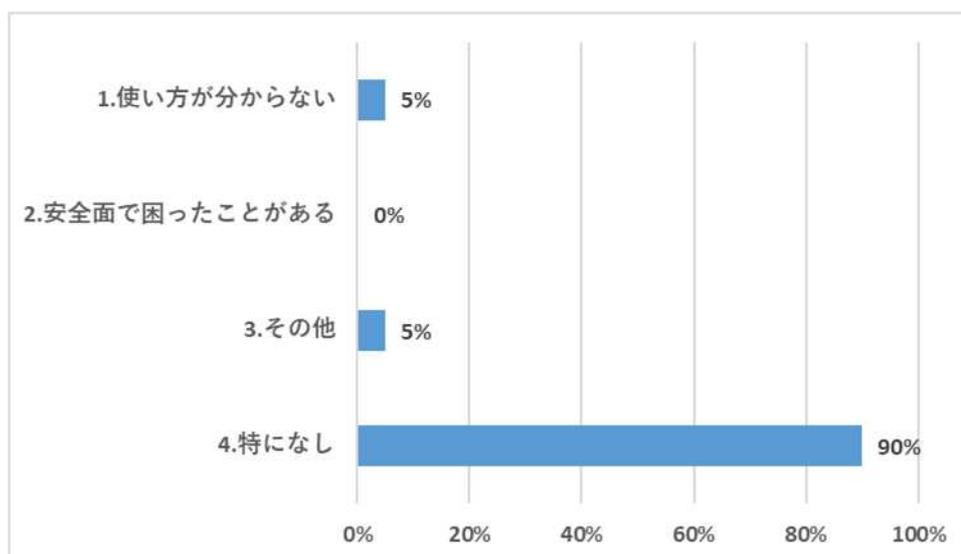
●分からない(介助者は利用者との仲が悪く機器に触れたことがなく分からないと回答)

既存利用者(n=14)

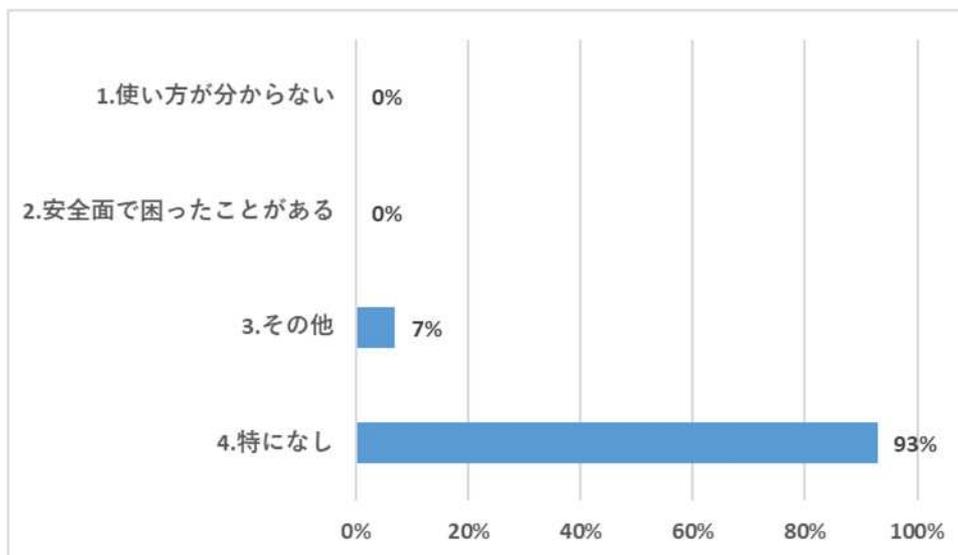


図表 22 機器を利用して困ったこと【複数選択】《調査票5-問4(3)》

新規利用者(n=21)



既存利用者(n=14)



その他の意見(自由記述)

新規利用者(n=21)

- 訪看では使い方が分からず説明をしていただき感謝しています。個人的には安全性と確実性があると思います。利用には本人の認知度や家族の理解が必要だと感じました。
- 寝る前の眠剤を飲まれているがでてこない・・・との連絡を受けることがあった。

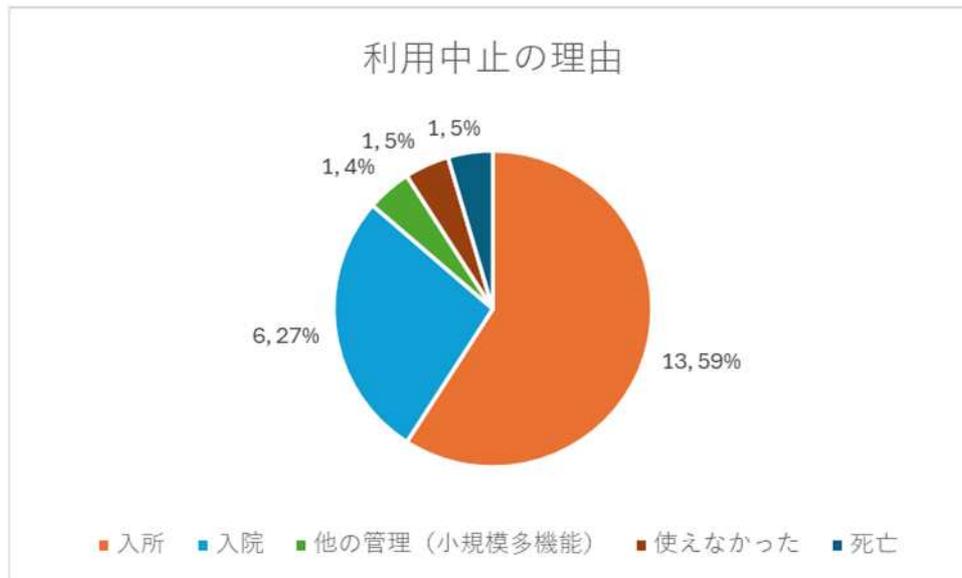
既存利用者(n=14)

- 時間に出てきたときに直ぐ飲めば良いが直ぐに飲まないのが飲み忘れがある。

6.利用をやめた人の分析

利用を中止された 22 名の方々の理由は以下の通りである。

- | | |
|---------------------|------|
| ① 施設入所による中止 | 13 名 |
| ② 入院による中止 | 6 名 |
| ③ 他の管理(小規模多機能)による中止 | 1 名 |
| ④ 使用できずに中止 | 1 名 |
| ⑤ 死亡による中止 | 1 名 |



施設入所による中止が最多で 13 名。入院により在宅復帰が難しくなり中止が 6 名。小規模多機能での薬の管理による中止が 1 名。死亡による中止が 1 名。

また、利用前に 2 週間ほどお試しをしたにも関わらず使えなかったケースでの中止(1 ヶ月以内に中止)が 1 名あり、利用可能かどうかの事前確認が甘かったケースがあった。多くは施設入所・入院・死亡等による利用中止がほとんどであり、致し方なく利用中止された方が多い特徴が見受けられる。

7.課題と今後の展開

7-1 課題

- ① 認知機能等が進行しても長く在宅で暮らせるための対応。
- ② 機器を利用した方々は服薬改善と生活の安定が見られることから、デモ機を利用してのアピール。
- ③ 機器を上手く使えない方のための指導方法。
- ④ 操作方法が分かりやすい説明書を作成する工夫、簡素化が必要。
- ⑤ 定期的に利用状況の確認と困っていることへの対応

7-2 今後の展開

- ① 独居の方でカレンダーなどを使用しても服薬支援が難しい方に対する推進。
- ② 服薬時誰もいなくても声掛けできる利点アピール。
- ③ 故障しない作りのアピール。
- ④ デモ機による実体験からの利用拡大。
- ⑤ 介護用品販売会社との連携による機器の紹介量を増やす。
- ⑥ 認知が悪化した場合は、訪問介護及び訪問看護との地域連携を強化する。
- ⑦ 医師・薬剤師との連携を図り地域連携の一役を担う。

【総括】

機器を利用することで、薬の飲み忘れや重複服用が改善されており、介助者の負担軽減にもつながっている。特にこれまでカレンダーなどを利用していても飲み忘れや重複服用など改善されず困っている方や独居のため服薬支援が難しかった方には、服薬時に自動的に声掛けを行い、決められた時間に毎日服用ができる機器の使用は利用者や介護者にとっても安心感を与えているものと考えている。

また、感染症対策として、一人で適切に服用出来ることは重要だ。服薬支援は利用者にとっても介護者にとっても負担となっている。

この数年間、少しずつではあるが利用者の人数も増えてきている。さらには、正しい服薬が出来れば健康や生活の質の改善もみられることから、さらなるデモ機仮試用や介護用品販売及び貸与業者と連携し、多くの方々に実体験を通して一人でも多くの方に利用してもらおうことを目指す。

また、服薬支援機を使用されている薬局の方々から当社の服薬支援機は故障が少ないとの意見をよく聞く。高齢者の方が操作を間違えて壊してしまう状況が多々あるようで、それにより一時的に正確な服薬ができず不安定な状況に戻るといった事例もあり、安全性も備えた故障しない服薬支援機という事もよりアピールして拡大を図りたい。